日本中世英語英文学会
第41回全国大会

2025年12月13日(土)・12月14日(日)
明治大学（駿河台キャンパス）

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1丁目1番
大会本部：リバティタワー 13階 1138教室［13日］・8階 1088教室［14日］
開催校連絡先：taro69@meiji.ac.jp

第1日　12月13日(土) 14:00-17:40

開会式・総会（13階 1133教室）12:00-12:30

会長講演（13階 1133教室）12:45-13:45

非断定形 *any*（non-assertive *any*）の展開 ― 中英語後期の印刷本コーパスに基づく分析　家入葉子（京都大学）

研究発表Ⅰ（13階 1134教室）14:00-15:30

1．Variation 再考 ― *Beowulf* におけるその定義と役割について　木内祥太（慶應義塾大学大学院）
2．Aldred の選定，*uirgo* の行間注 *hehstald*　田本健一（愛知大学名誉教授）

研究発表Ⅱ（14階 1145教室）14:00-15:30

3．古英詩における *to*-infinitive の用法　小倉美知子（明治大学客員研究員）
4．中英語聖書における不定詞の選択過程　佐藤信正（独立研究者）

研究発表Ⅲ（14階 1146教室）14:00-15:30

5．「quod he」は詩行の一部なのか？ ― ラングランドと『ガウェイン』詩人におけるリズムの創造性　井上典子（関西大学）
6．*Kyng Alisaunder* のヘッドピースと音楽　松沢絵里（大阪芸術大学）

シンポジウム（13階 1133教室）15:40-17:40

Approaches to Old English Textual Criticism
パネリスト：唐澤一友（立教大学），小河　舜（上智大学），寺澤　盾（青山学院大学），Rafael J. Pascual（Universidad de Granada）

第2日　12月14日(日) 10:00-12:30

研究発表Ⅳ（7階 1075教室）10:00-12:20

7．The Sea Gives and Takes: Islands Made and Unmade by the North Sea　Britton Elliott Brooks（九州大学）
8．教養としての古英語教育の新たなアプローチ　三浦あゆみ（東京大学）
9．グウィネヴィア，アルトリウス，聖杯，円卓 ― フロム・ソフトウェアのゲームに見る中世主義　小宮真樹子（近畿大学）

研究発表Ⅴ（8階 1084教室）10:00-12:20

10．*The Canterbury Tales* における職業巡礼者としての Wife of Bath　立花香里（同志社大学大学院）
11．John Mirk の語りの戦略 ― *Festial* における St Winifred の懲罰的奇跡の活用　中川健司（慶應義塾大学大学院）
12．John Gower のモラル・バラード ― 海峡横断的視点からの一考察　小林宜子（東京大学）

研究発表Ⅵ（8階 1087教室）10:00-12:20

13．Ælfric の説教と聖人伝における *soplice* と *witodlice* の用法について　佐藤桐子（大東文化大学）
14．『アングロ・サクソン年代記』A，B，C 写本の Common Stock における関係代名詞の用法　阿部春来（早稲田大学学部生）
15．Legal Multinomials in Late Middle English　Johanna Vogelsanger（University of Zurich）

閉会式（8階 1083教室）12:20-12:30

＊受付は，12月13日（土）10:00-16:00に13階 1133教室前，12月14日（日）8:30-10:50に 8 階 1083教室前で行われます。
＊一般会員の年会費徴収は行いません。

日本中世英語英文学会（会長 家入葉子）

事務局：〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
明治大学　農学部総合教育科　狩野晃一研究室内
連絡先：jsmes.2025.2026@gmail.com

【大会準備委員】井口　篤（委員長）　新川清治（副委員長）　小河　舜　泉類尚貴　長谷川千春　Jacob Runner　渡辺直子